



○ サンザシ(山査子)

語源

Crataegus : ギリシャ語の「力、強い」(kratos) + 「持つ」(agein)に由来し、樹の質がかたいことにちなむ。
cuneata : 「cuneatus=くさび形の」という意味。

和名のサンザシは山査子を音読みしたもので、「子」は元来果実のことを指している。

基原

Crataegus cuneata サンザシ
Crataegus pinnatifida オオミサンザシ
バラ科 落葉低木

日本には享保のはじめに朝鮮半島経由で渡来し、その当時、国産奨励に意を注いでいた八代将軍吉宗により、薬用植物として各地の御薬園(おやくえん、=薬用植物園)で栽培されたといわれている。

薬用部分

偽果
完熟果実を乾燥したものをを用いる。核を除いたものは山査肉(サンザニク)という。

産地

Crataegus cuneata サンザシ … 中国中南部
Crataegus pinnatifida オオミサンザシ … 中国東北部から北部、朝鮮半島、アムール、ウスリーなど

主な成分

フラボノイドのクエルセチン、タンニンのクロロゲン酸、トリテルペンのオレアノール酸、フェノールカルボン酸のカフェ酸のほか、ビタミンB2、ビタミンC、色素カロチンなどを含む。

主な薬効

山査肉には抗菌作用があり、山査子には血管拡張、降圧作用のほか、配糖体に強心作用があるといわれている。消化、鎮静、整腸、健胃などに有効とされ、胃腸カタル、胃拡張、二日酔い、食中毒などに用いられるほか、漆かぶれに外用することもある。

代表的処方

漢方では、健胃、消化、整腸薬として消化不良、食欲不振、下痢などに用いる。

【化食養脾湯】

カシヨクヨウヒトウ
胃腸の弱いもので食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：
胃炎、胃アトニー、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐
(処方内容) 人參/朮/茯苓/半夏/陳皮/大棗/神麴/麦芽/山査子/縮砂/乾生姜/甘草

【加味平胃散】

カミヘイイサン
胃がもたれる傾向のあるものの次の諸症： 食欲不振、胃アトニー
(処方内容) 朮/厚朴/陳皮/甘草/生姜/大棗/神麴/麦芽/山査子

文献報告

【抗高脂血症】

Triterpenic Acids Present in Hawthorn Lower Plasma Cholesterol by Inhibiting Intestinal ACAT Activity in Hamster
Evid. Based. Complement. Alternat. Med, 2011, 801272

【抗アルツハイマー・血圧降下】

Polyphenolic profile and biological activity of Chinese hawthorn (*Crataegus pinnatifida* BUNGE) fruits
Biosci. Biotech. Biochem, 2006, 70, 2948-56

※参考文献： 「生薬単」 「漢方のくすりの事典」 「日本薬草全書」 「和漢薬の事典」 「原色牧野和漢薬草大図鑑」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp